

令和5年度事業報告

2020年から猛威を奮った新型コロナは、令和5年5月にインフルエンザと同じ扱い（感染症5類）となりましたが、なかなか終息することはなく、入所者様におかれましては6回目のワクチン接種をしたにもかかわらず8月には入所者様からコロナ感染者が出て、隔離部屋で使い捨て防護服での介護、デスポでの食事、風呂入れ中止、徹底した消毒等、全職員の協力のもと2週間程で平常に戻ることができました。

お花見会や敬老会、クリスマス会等のイベントは、感染予防のため御家族や地域の方々との交流ができませんでしたが、職員で季節毎のイベントを企画し、特に秋の焼き芋会、節分の豆まきはとっても喜ばれました。

面会は中止の期間もありましたが、ガラス越しでの面会となっています。施設内で感染者なく、南薩地域保健所の感染者週報（週1回発表）で注意報・警報がない時は対面での面会となっています。

事業経営に関しましては、長年の赤字経営を鑑み5月31日をもって居宅介護支援事業所を廃止しました。よって公益事業が給食宅配事業だけになりました。今後、デイサービス事業、ヘルパー事業への影響が懸念されます。

職員の研修は昨年同様オンラインにて行われましたが、毎月の施設の職員会議、定例会、各委員会、担当者会議等は計画的に行われました。

城西高校1年生2名の実習生受入れをしました。デイで10日間、施設で10日間の実習でした。将来につながれば良いなと思っています。

施設整備に関しましては、施設厨房の出入口がせまく、温冷配膳車がよくぶつかるので出入口幅を少し広げドアのつけ替えをしました。また昨年取得した温泉の配管の取り替え、施設各居室の洗面台下の床の張替えを行いました。今年度は各居室全面床張替えを検討しています。これからもより良い環境作りに努めてまいります。